

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人みちのく福祉会 こども発達支援センターりりい		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 9日		令和 8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		令和 8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「総合病院小児神経科Dr」が「内科健診」に来院し保護者に養育アドバイス等がある。また、看護師が配置されていることで安心感が高い。	「医療的ケア児」や「肢体不自由児」も利用しているため「総合病院リハビリテーション科」への見学・情報交換などを積極的に行っている。	医療面に関する知識を深めるとともに、保護者との情報共有及びりりいとして提供できるサービスの充実を図っていく。
2	インクルーシブ社会の実現に向けた取り組みとして地域向けの研修会を継続して開催している。テーマの設定に関しても保護者のニーズを加味している。	保育園等を利用していない児童(りりいのみ利用)を中心に隣接保育園と連携して「社会性」「経験値」を高めインクルージョンの促進を図っている。	保護者だけではなく様々な方々に事業所を見学してもらい障がい児への理解を深めていただく。研修会に関しては継続実施していく。
3	「放課後等デイサービス事業」「相談支援事業」「保育所等訪問支援事業」も実施しているため、継続的・総合的な支援が提供できる。	関係機関・関係者との繋がりが不可欠という思いから「地域自立支援協議会」「保育園・小学校」「事業所」「児童相談所」「行政」などと情報共有を進めている。	今後も保護者や保育園、教育委員会など関係機関との情報共有と連携を深め、児童にとってより良い就学に向けた支援と取り組みを提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な活動や取り組みを進めているが、保護者の方々に周知されていない印象があるようです。	連絡帳での児童の様子確認や保護者の方々の活動見学・情報交換の場を設けていますが不足しているのかと感じます。	保護者懇談会(研修会)や活動見学・情報交換の場をより多く設けていき必要に応じてタイムリーに対応する体制を整えていきたいと思います。
2	安全対策などに関するマニュアルは作成しており訓練は実施していますが把握されていない印象があるようです。	マニュアルは作成し事業所に掲示していますが実際に目にするのが少ないのかと感じます。	保護者の方々に資料を配付したり、ホームページに掲載して理解していただくようにしたいと思います。
3			